

桜井民報

編集・発行：日本共産党桜井市委員会
 連絡先：桜井市栗殿1029-5
 吉本ビル201号 吉田ただお事務所
 ☎/FAX：0744-46-4930
 HP：[日本共産党市会議員吉田忠雄](#)



吉田ただお 6月議会報告 2016年8月号 No, 61号

可燃ごみの収集 地域によって差がつかない

松井市長 「下半期のカレンダーで検討を行っていききたい」

ごあいさつ
 7月におこなわれた参議院選挙で日本共産党は、比例代表選挙で5議席、選挙区選挙では東京で当選し、改選3議席を6議席へと倍増することができました。また、全国32の1人区すべてに野党統一候補を擁立し、奈

良選挙区では及びませんでした。11の選挙区で勝利を

月・木コースは4日も少ない

吉田議員

今年度の上半期のクリーンカレンダーでは可燃ごみの収集日が、月・木コースは火・金コースよりも4日も収集日が少なくなっている。月・木コースの地域に住んでいる住民から、「同じように税金を納めているのに、なぜ住むところによって差が出るのか」という声が多く出されている。この声をどのように受け止めるのか、市長に尋ねたい。

6月定例議会が6月2日～20日まで開催されました。日本共産党吉田議員は、一般質問では可燃ごみ回収の回数差の解消、障害者差別解消の推進、市職員の時間外勤務の改善を中心に質問しました。

松井市長

月・木のエリア内の皆様には月曜日が祝日または振替休日となり、燃やせるゴミの収集、回収に不公平が生じ、大変ご迷惑をおかけしている。すべての祝祭日についての対応は、職員の出勤態勢、人員配置などクリアすべき課題もあり困難な状況



写真は可燃ゴミ収集作業

にある。この状況を踏まえたなかで、年間を通じて市民サービスに支障をきたさないよう、不公平が生じないように、10月以降の下半期カレンダーで検討を行ってきたい。

今からでもカレンダー見直しを

吉田議員

地方自治法第10条には「住民は法律の定めるところにより、その属する普通地方公共団体の役務の提供を等しく受ける権利を有し、その負担を分担する義務を有する」とある。住んでいる地域によって市民サービスに大きな差が出ることは道理不尽なことではない。今からでもカレンダーを

障害者支援専門の担当課を

松井市長 「議員の意見を参考に検討していききたい」

吉田議員

障害者差別解消法が国において今年の4月より施行された。同法第3条で、「国及び地

吉田議員

診療所の名称を桜井市休日夜間応急診療所に改められて、平日の夜間も内科の応急診療が開始される(8月1日より)。かねてから「市内に夜間救急外来を早く設置してほしい」という市民の要望があり実現したことになる。同時に、休日には小児科の見直していただきました。

小児科についても平日夜間医師派遣を 夜間応急診療一部実現

文教厚生常任委員会 吉田忠雄議員の質問概要



診療をされているが、平日の夜間にも小児科の医師を配置してほしいという強い要望があり、立医大小児科から医師派遣できないか。

理事者側

小児科に対する要望があることは認識しており、医師の確保など要望に、今後とも努力していききたい。

松井市長

10月以降の下半期のカレンダーの割り振りで検討をおこなっていききたい。

生来俺の間に菌は、6日回るとバイ菌がたまたま天国



方公共団体は、障害を理由とする差別の解消の推進に必要となる施策を策定し、これを実施しなければなら

い」とあるが、市ではどのような取り組みがされているのか。

(裏面に続く)

松井市長

桜井市では、平成26年10月に奈良県が推進している職員にさまざまな障がいや理解してもらい、その人たちが困っていることや手助けや配慮の方法を知り行うことを目的とした「まほろばあいサポート運動」について、全職員を対象に研修をおこなった。

今年1月には、民生児童委員障害者児童福祉部会にて、「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に関する研修をおこなった。

関係者の声聞いて改善するべき

吉田議員

障害者差別解消法では、障がい者の合理的配慮が必要とされているが、どのような配慮が必要か全面的な洗い出しが必要ではないか。その一つひとつを障がい者当事者や関係者の

声をよく聞いて、改善すべきではないかと考えるが。

松井市長

市としては、社会福祉協議会や障害者団体等と連携を図り、あらゆる場面において差別を解消し啓発をおこない、課題や問題点を精査し改善をおこなっていきたい。

身障者は家族含めると2割ぐらいい

吉田議員

平成25年度では、身体障害者手帳を持つておられる方が3,171名、知的障がい者が553名、精神障がい者が273名おられる。障がい者でありながら手帳を持っていない方も一定数あると



(写真)「津久井やまゆり園」の正門前に設けられた献花台に手を合わせる人

8月2日赤旗新聞より

7月26日の相模原市障害者施設事件で犠牲になられた19人のご冥福をお祈りするとともに、負傷された方々にお祈りいたします。

一人ひとりが大切にされる社会を

れだけでなく、社会的背景などを含め、多角的に見ていかなければなりません。一人ひとりが大切にされる社会、憲法に保障された基本的な権利がしっかりと尊重されればならぬと改めて決意しているところでは、(吉田市会議員談)

推測される。また、家族も含めると市の人口の相当な部分、おそらく2割ぐらいいになるのではないかと。そういうことから、障がい者福祉を係から障がい者支援を専門的に担当する独立した課が必要ではないか。

松井市長

議員の意見を参考にしていきたい。

市職員の健康悪化は市民サービスに影響も

松井市長「窓口業務などを外部委託に」

吉田議員

今も市役所では連日夜の10時、11時まで部屋に明かりがついている職場がある。職員の時間外勤務の適正化に向けての取り組みのなかで前進があったのかどうか尋ねたい。

松井市長

平成27年度の時間外勤務の実績は、昨年度比約17%減の3



昨年の原爆写真展

労使で残業時間上限を設けるべきでは

吉田議員

数日前も夜10時過ぎに市役所へ行くと、保健医療課、土木課、総務課、財政課、観光まちづくり課などに明かりがついてい



核兵器廃絶の願いをつないで

6月13日の午前、桜井市役所へ「網の目平和行進」の要請を行いました。桜井市では例年通り、原爆写真展の開催を約束していただき、桜井市と議会から平和行進ペナントを受け取りました。(写真左 ペナントを受けとる吉田議員) ペナントは広島への本行進にたくされ、8月6日広島市に届けられました。その後、雨の中を桜井駅南口までパレードをしました。(写真右)

た。年間の超過勤務が919時間になっている職員もいる。

職員数が足りないことが明らかだ。超過勤務の根本的な原因は新規採用者を減らし、人員削減してきた結果ではないのか。現在、9名の職員が病気休暇あるいは休職をしている。そのうち、7名が精神疾患での休暇・休職である。

松井市長

まだまだ職員に負担をかけていることは承知している。そういう状況において窓口関連業務の外部化を検討している。窓口業務の業務量が軽減できれば、時間外勤務を抑制できると考えている。

長時間労働を是正する最も有効な手段は、労使で残業時間上限を設けることである。市民のために仕事をするといい